



教 育 計 画

三草会札幌看護専門学校 第7期生

目 次

1. 教育理念	-----	P 1
2. 期待する卒業生像、教育目的・目標	-----	P 2
3. 教育方針・アドミッションポリシー	-----	P 3
4. 学年別到達目標	-----	P 4～5
5. 教育課程	-----	P 6
6. 教育課程進度表	-----	P 7
7. 3年間の科目時間配分	-----	P 8～9
8. カリキュラム構成図、カリキュラムデザイン	-----	P 10～11
9. 教科外活動	-----	P 12
10. 教科外活動の目的	-----	P 13
11. 科目の授業構成図	-----	P 14～21
12. 科目進度計画表	-----	P 22～26
13. 学内実習・演習進度表	-----	P 27
14. 看護師教育の技術項目(学内実習・演習)	-----	P 28
15. 年間臨地実習計画表	-----	P 29
16. 分野別実習単位・時間・実習施設	-----	P 30
17. 学年年間計画	-----	P 31
18. 年間行事予定一覧表	-----	P 32
19. 学校運営組織図	-----	P 33
20. 教職員公務分掌	-----	P 34～35
21. 領域別看護学担当教員及び業務マトリックス	-----	P 36
22. 看護研究	-----	P 37～38
23. 入学者出身校状況	-----	P 39～40
24. 就職・進学状況	-----	P 41
25. 在籍状況・国家試験結果状況	-----	P 42

教育理念

三草会は「あることの尊さへのアプローチ(一緒に治る喜びを分かちあおう)」が基本理念である。理念の核は「人間の尊厳」と「人間愛」である。「人間の尊厳」とは人としての尊厳を重んじ、生命を尊び個人の価値観・権利を尊重する事である。

「人間愛」とは豊かな感情体験の中で人を愛する思いやりの心、他者の痛み苦しみに寄り添い慈しみ、あたかも自分の事のように感じられる優しい心をもつ事である。

この2つの精神を基盤とし社会医療法人と社会福祉法人の2つを併せ持つ三草会は、健康であっても、障害があっても、一人の人間として個人の生活に着眼し、疾病の予防、健康の維持増進、健康回復のために保健・医療・福祉が連携・協働しあい、それぞれの役割機能を発揮し、心を合わせて一体化となり、人々の幸福と健康的な生活の向上を目指して社会貢献している。

以上から三草会の「人間の尊厳」と「人間愛」の理念を基盤とし、三草会札幌看護専門学校は教育理念を

「人間の尊厳と人間愛の精神が学生一人ひとりに根づき、変化し続ける社会の中で看護を実践できるための基礎的能力を養い、人々の健康と幸福な生活の向上を目指し、保健・医療・福祉の中で社会に貢献できる専門職業人の育成を行う」とする。

学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた信頼関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

期待する卒業生像

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力が養われている。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性に育ち、対人関係が築ける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力が養われている。
4. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。
5. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身についている。

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる能力を養う。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係の構築を育くむ。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力を養う。
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動を養う。
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢を育む。

教育方針

1. 学生が「学びがい」を見出せるよう内的動機づけを行い、目標に向かって自己成長していく過程を支援する。
2. 個別のレディネスに応じた細やかな指導に心がけ、学生がもっている潜在能力を引き出し、最大限に発揮できるように働きかける。
3. 学生が自己の課題を解決する事ができるために「学び方」が身につく学習支援体制を整える。
4. 全ての学生が機会均等に学ぶ権利を保障するための環境を整える。
5. 教員は誠実、真摯に学生と向き合い信頼関係形成に努める。

将来看護師になりたいと夢と志しを抱き入学してくる学生に対し、私達は、現代の若者達の背景や特徴を理解しありのまま受け入れ、学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

アドミッションポリシー

求める学生像

1. 倫理観に基づく行動がとれる。
専門職業人としての規律を重んじた自覚
社会の一員として責任ある行動
2. 主体的に学習に取り組める。
向上心
積極的に学習課題に取り組む
3. コミュニケーションを円滑にすすめられる。
他者の思いを受容
チームの一員として協働できる
人間関係の構築

学年別到達目標

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標	1年次到達目標	2年次到達目標	3年次到達目標
1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる能力を養う	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人体の構造と機能が理解できる 2) 精神の発達と機能が理解できる 3) 人間の社会的側面を理解することができる 4) ライフステージにおける発達課題を理解することができる 	人間の身体的・精神的・社会的な側面の関連を考えることができる	人間は身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる
2 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護技術には原理・原則があり安全・安楽に実施する必要性を理解できる 2) 看護過程の思考が理解できる 3) 理論の活用必要性がわかる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護技術を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できる 2) 基本的な看護過程を展開できる 3) 理論を活用することで論理的思考を高める 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護技術を対象の個別性に合わせて応用できる 2) あらゆる対象に看護過程を展開できる 3) 論理的に表現できる
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性と、対人関係の構築を育む	<ol style="list-style-type: none"> 1) 他者の考えを受け入れながら自己の考えも伝えることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 他者を受容し、状況に合わせた言動がとれる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 多様な価値観を受け入れ、対人関係を築ける
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健・医療・福祉の概念が理解できる 2) 保健・医療・福祉チームの一員として行動することの自覚がもてる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健・医療・福祉チームの連携・協働を理解することができる 2) 保健・医療・福祉チームの中の一員として看護師の役割と責任を認識できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健・医療・福祉チームの中で連携・協働しながら看護師としての自覚を高め、責任ある行動がとれる

教育目標	1年次到達目標	2年次到達目標	3年次到達目標
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動を養う	看護倫理の重要性が理解できる	1) 看護職に必要な倫理に従って規律ある行動がとれる 2) 看護者のあり方について自分なりの考えをもつことができる	1) 看護倫理に従って常に規律ある行動がとれる 2) 自己の看護観を述べられる
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢を育む	1) 主体的に学習し自己の課題を解決するための行動がとれる	1) 自己の課題を解決するために主体的、継続的に学習することができる	1) 常に自己の課題に取り組む、継続して学習する姿勢が身についている

三草会札幌看護専門学校 教育課程 別表第1号

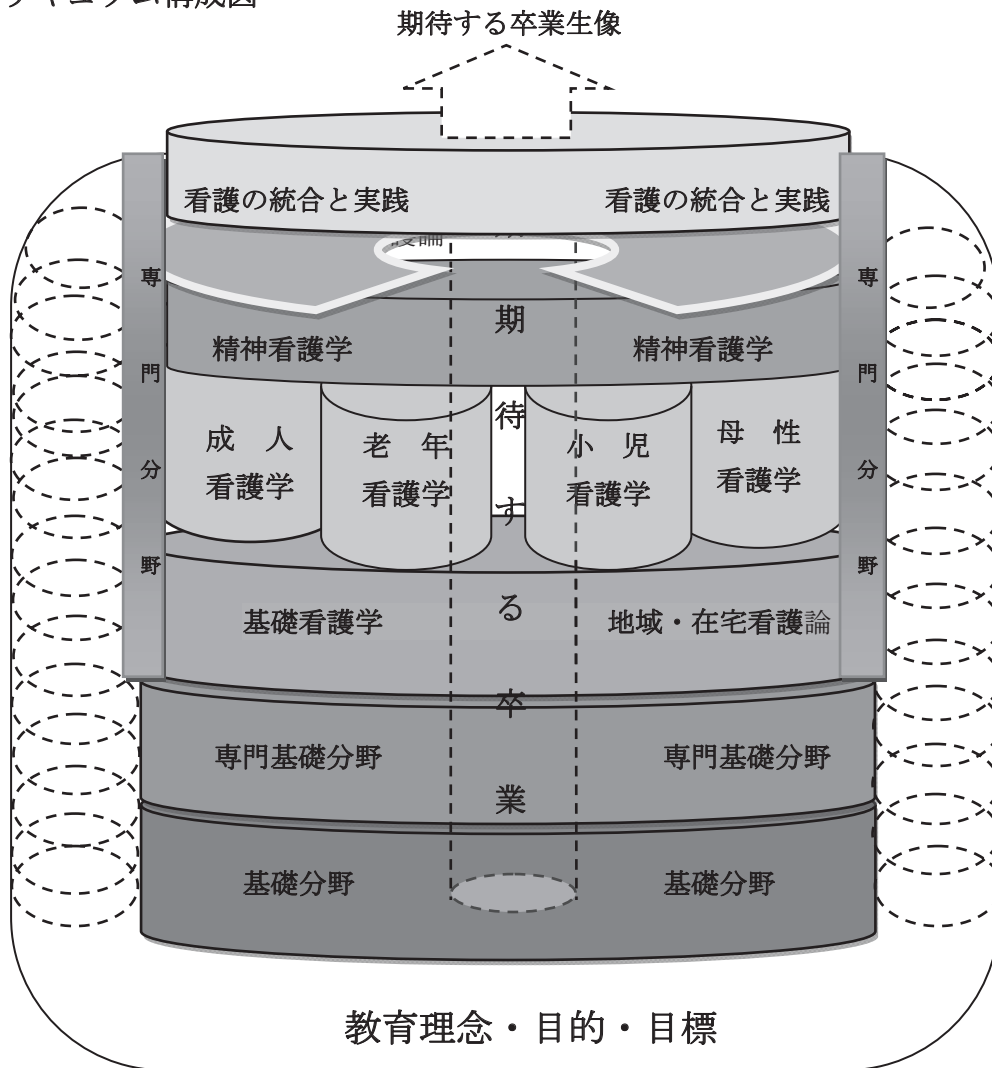
	科目	単位数	時間数			備考
			講義	実習	計	
基礎分野	看護物理学	1	30		30	
	論理学	1	30		30	
	国語表現法	1	15		15	
	英語 I	1	30		30	
	英語 II	1	30		30	
	情報科学と統計	1	30		30	
	心理学	1	30		30	
	コミュニケーション	1	30		30	
	文化人類学	1	30		30	
	倫理学	1	30		30	
	音楽と表現技法	1	30		30	
	社会学	1	30		30	
	家族論	1	15		15	
	教育学	1	30		30	
小計		14	390		390	
専門基礎分野	解剖生理学 I	1	15		15	
	解剖生理学 II	1	30		30	
	解剖生理学 III	1	30		30	
	解剖生理学 IV	1	30		30	
	解剖生理学演習	1	30		30	
	病理学総論	1	15		15	
	生化学	1	30		30	
	栄養学	1	15		15	
	人の生活と食事	1	15		15	
	臨床薬理学	1	30		30	
	臨床検査	1	15		15	
	微生物学	1	30		30	
	病態と治療 I	1	30		30	
	病態と治療 II	1	30		30	
	病態と治療 III	1	30		30	
	治療法概論	1	30		30	
	総合医療論	1	15		15	
	社会福祉	1	30		30	
	チーム医療論	1	15		15	
	関係法規	1	30		30	
	リハビリテーション	1	15		15	
	公衆衛生学	1	15		15	
小計		22	525	0	525	
専門分野	基礎看護学					
	看護学概論 I	1	30		30	
	看護学概論 II	1	15		15	
	共通援助技術	1	30		30	
	生活援助技術 I	1	30		30	
	生活援助技術 II	1	30		30	
	生活援助技術 III	1	30		30	
	フィジカルアセスメント技術	1	30		30	
	診療援助技術	1	30		30	
	看護展開技術	1	30		30	
	生活援助技術実践	1	30		30	
	臨床看護総論	1	30		30	
	看護研究	1	30		30	
	地域・在宅看護論					
	地域・在宅看護論演習	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論 I	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論 II	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論 III	1	30		30	
	地域・在宅看護論方法論 I	1	30		30	
	地域・在宅看護論方法論 II	1	30		30	
	成人看護学					
	成人看護学総論 I	1	15		15	
	成人看護学総論 II	1	30		30	
	成人看護学方法論 I	1	30		30	
	成人看護学方法論 II	1	30		30	
	成人看護学方法論 III	1	30		30	
	成人看護学方法論 IV	1	30		30	
	老年看護学					
	老年看護学総論 I	1	15		15	
	老年看護学総論 II	1	30		30	
	老年看護学方法論 I	1	30		30	
	老年看護学方法論 II	1	30		30	
	小児看護学					
	小児看護学総論 I	1	15		15	
	小児看護学総論 II	1	30		30	
	小児看護学方法論 I	1	30		30	
	小児看護学方法論 II	1	30		30	
	母性看護学					
	母性看護学総論 I	1	15		15	
	母性看護学総論 II	1	30		30	
	母性看護学方法論 I	1	30		30	
	母性看護学方法論 II	1	30		30	
	精神看護学					
	精神看護学総論 I	1	15		15	
	精神看護学総論 II	1	30		30	
	精神看護学方法論 I	1	30		30	
	精神看護学方法論 II	1	30		30	
	看護の統合と実践					
	看護管理	1	15		15	
	災害看護	1	15		15	
災害看護演習	1	15		15		
看護技術統合実践	1	30		30		
臨地実習						
基礎看護学実習 I	2		90	90		
基礎看護学実習 II	2		90	90		
地域・在宅看護論実習 I	1		30	30		
地域・在宅看護論実習 II	2		90	90		
成人看護学実習 I	2		90	90		
成人看護学実習 II	2		90	90		
老年看護学実習 I	2		90	90		
老年看護学実習 II	2		90	90		
老年看護学実習 III	2		90	90		
小児看護学実習	2		90	90		
母性看護学実習	2		90	90		
精神看護学実習	2		90	90		
看護統合実習	2		90	90		
小計		69	1140	1110	2250	
総計		105	2055	1110	3165	

3年間の科目時間配分

教育内容		基準 単位	科目名称	単位	年間授業時間数			
					1年次	2年次	3年次	合計
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	14	1 看護物理学	1	30			30
			2 論理学	1		30		30
			3 国語表現法	1	15			15
			4 英語 I	1	30			30
			5 英語 II	1			30	30
			6 情報科学と統計学	1		30		30
			7 心理学	1	30			30
			8 コミュニケーション	1	30			30
			9 文化人類学	1	30			30
			10 倫理学	1	30			30
			11 音楽と表現技法	1	30			30
			12 社会学	1			30	30
			13 家族学	1	15			15
			14 教育学	1			30	30
		14	小計	14	240	60	90	390
専門基礎分野	人体の構造と機能	16	15 解剖生理学 I	1	15			15
			16 解剖生理学 II	1	30			30
			17 解剖生理学 III	1	30			30
			18 解剖生理学 IV	1	30			30
			19 解剖生理学演習	1	30			30
			20 病理学総論	1	15			15
			21 生化学	1	30			30
			22 栄養学	1	15			15
			23 人の生活と食事	1	15			15
			24 臨床薬理学	1	30			30
	疾病の成り立ちと 回復の促進	6	25 臨床検査	1		15		15
			26 微生物学	1	30			30
			27 病態と治療 I	1	30			30
			28 病態と治療 II	1	30			30
			29 病態と治療 III	1		30		30
			30 治療法概論	1		30		30
	健康支援と 社会保障制度	6	31 総合医療論	1			15	15
			32 社会福祉	1		30		30
			33 チーム医療論	1	15			15
			34 関係法規	1		30		30
			35 リハビリテーション	1	15			15
			36 公衆衛生学	1	15			15
		22	小計	22	375	135	15	525
専門分野	基礎看護学	12	37 看護学概論 I	1	30			30
			38 看護学概論 II	1	15			15
			39 共通援助技術	1	30			30
			40 生活援助技術 I	1	30			30
			41 生活援助技術 II	1	30			30
			42 生活援助技術 III	1	30			30
			43 フィジカルアセスメント技術	1	30			30
			44 診療援助技術	1	30			30
			45 看護展開技術	1	30			30
			46 生活援助技術実践	1	30			30
			47 臨床看護総論	1	30			30
			48 看護研究	1		30		30
	地域・在宅看護論	6	49 地域・在宅看護論演習	1	15			15
			50 地域・在宅看護論総論 I	1	15			15
			51 地域・在宅看護論総論 II	1		15		15
			52 地域・在宅看護論総論 III	1		30		30
			53 地域・在宅看護論方法論 I	1		30		30
			54 地域・在宅看護論方法論 II	1		30		30

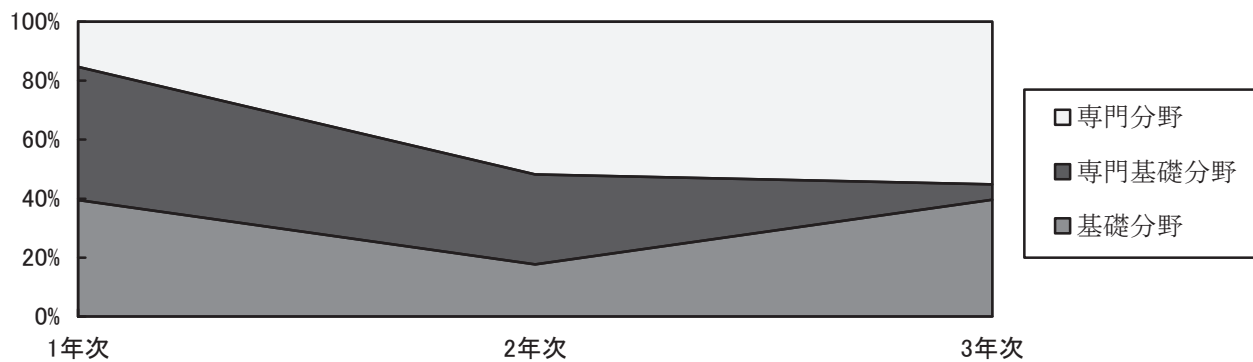
教育内容	基準 単位		科目名称	単位	年間授業時間数			
					1年次	2年次	3年次	合計
成人看護学	6	55	成人看護学総論Ⅰ	1	15			15
		56	成人看護学総論Ⅱ	1	30			30
		57	成人看護学方法論Ⅰ	1		30		30
		58	成人看護学方法論Ⅱ	1		30		30
		59	成人看護学方法論Ⅲ	1		30		30
		60	成人看護学方法論Ⅳ	1		30		30
老年看護学	4	61	老年看護学総論Ⅰ	1	15			15
		62	老年看護学総論Ⅱ	1	30			30
		63	老年看護学方法論Ⅰ	1		30		30
		64	老年看護学方法論Ⅱ	1		30		30
小児看護学	4	65	小児看護学総論Ⅰ	1	15			15
		66	小児看護学総論Ⅱ	1		30		30
		67	小児看護学方法論Ⅰ	1		30		30
		68	小児看護学方法論Ⅱ	1		30		30
母性看護学	4	69	母性看護学総論Ⅰ	1	15			15
		70	母性看護学総論Ⅱ	1		30		30
		71	母性看護学方法論Ⅰ	1		30		30
		72	母性看護学方法論Ⅱ	1		30		30
精神看護学	4	73	精神看護学総論Ⅰ	1	15			15
		74	精神看護学総論Ⅱ	1		30		30
		75	精神看護学方法論Ⅰ	1		30		30
		76	精神看護学方法論Ⅱ	1		30		30
看護の統合と実践	4	77	看護管 理	1			15	15
		78	災 害 看 護	1			15	15
		79	災 害 看 護 演 習	1			15	15
		80	看護技術統合実践	1			30	30
臨地実習	4	81	基礎看護学実習Ⅰ	2	90			90
		82	基礎看護学実習Ⅱ	2		90		90
	3	83	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	30			30
		84	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2			90	90
	4	85	成人看護学実習Ⅰ	2		90		90
		86	成人看護学実習Ⅱ	2			90	90
	6	87	老年看護学実習Ⅰ	2		90		90
		88	老年看護学実習Ⅱ	2		90		90
		89	老年看護学実習Ⅲ	2			90	90
	2	90	小児看護学実習	2			90	90
	2	91	母性看護学実習	2			90	90
	2	92	精神看護学実習	2			90	90
	2	93	看護統合実習	2			90	90
	69		小計	69	600	945	705	2250
合計	105		合計	105	1215	1140	810	3165

カリキュラム構成図



カリキュラム構築にあたり、教育理念、目的、目標は看護基礎教育の根幹になるものと考え、教育内容全体を包んだ。期待する卒業生像を中心の柱として考え、常に各分野が漸進的、反復的、弾力的に学習を積み上げ教育をしていく。基礎分野は、看護教育の基盤となる分野であり一番下台に置き全体を支える。ここでは看護の対象である人間理解と、生活者として幅広く理解をさせ、看護実践の基盤となる科学的・論理的思考を深める学習にする。専門基礎分野は、人体ならびに疾病を系統立てて理解させ、健康を支援できるための土台になるものと考え、基礎分野の上台に置いた。専門分野である基礎看護学は看護の本質と理論を学び、看護実践の基礎となる知識・技術・態度を習得する学であり、各看護学の基盤である。また地域・在宅看護論は成人、老年、小児、母性そして精神の対象を越えて、地域、在宅で生活するすべての人々を対象とすることで基礎看護学と並行した学びが必要と考え同じ土台に置き、漸進的に進めていく位置付けとした。その上台には成人、老年、小児、母性看護学が位置するが、地域・在宅看護論と精神看護学は全ての発達段階にある人々を対象とするので各看護学全体の上に置いた。またこれまでに習得してきた知識・技術・態度を更に応用、専門性を高め発展させることを目指し、各看護学の上に看護の統合と実践を置いた。

カリキュラムデザイン



	1年次	2年次	3年次
基礎分野	29%	15%	23%
専門基礎分野	37%	26%	3%
専門分野	34%	44%	32%

カリキュラムデザインは授業進度が、基礎分野、専門基礎分野の進行とともに専門分野の比重が多くなる漸進型カリキュラムである。

教科外活動

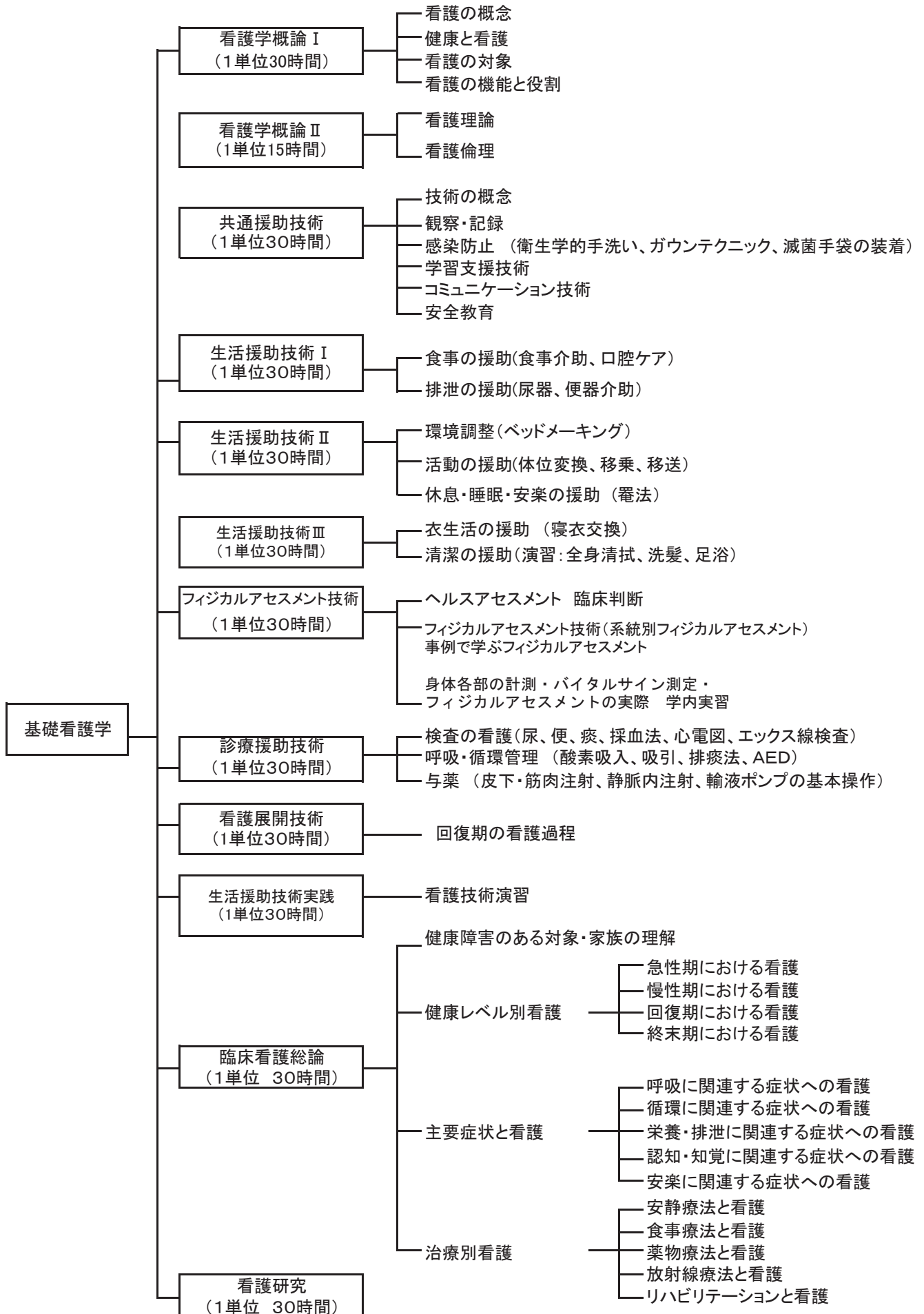
	1年生	時間	2年生	時間	3年生	時間
4月	入学式	4	実習ガイダンス	8	実習ガイダンス	24
	入学ガイダンス	8	新入生歓迎会	2	新入生歓迎会	2
	新入生歓迎会	2	実習激励会	2	健康診断	6
	実習激励会	2	健康診断	6	実習激励会	2
	個人情報の取り扱い 講話	2				
	1年生間交流研修	8				
	東警察署防犯対策 講話	2				
5月	看護の日	2	実習報告会	4		
	健康診断	6				
	避難訓練	2				
6月						
7月	遠足	8	遠足	8		
8月	戴帽式総練習	4	実習激励会	2		
	戴帽式	8				
	実習激励会	2				
	実習ガイダンス	8				
9月	実習報告会	4	実習ガイダンス	12		
	札幌医科大学解剖 標本館見学	4				
10月	防火訓練	2				
11月			実習報告会	4	実習ガイダンス	8
12月					看護協会研究発表 聴講	8
1月						
2月	実習ガイダンス	8	看護研究発表	2	看護師国家試験	8
	実習報告会	4				
	2年生看護研究発表 聴講	2				
3月	予餞会	2	予餞会	2	予餞会	2
	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2
	卒業式	8	卒業式	8	卒業式練習	6
			実習施設ガイダンス	8	卒業報告会	4
					卒業式	8
小計	104	時間	70	時間	80	時間
総計			254		時間	

教科外活動の目的

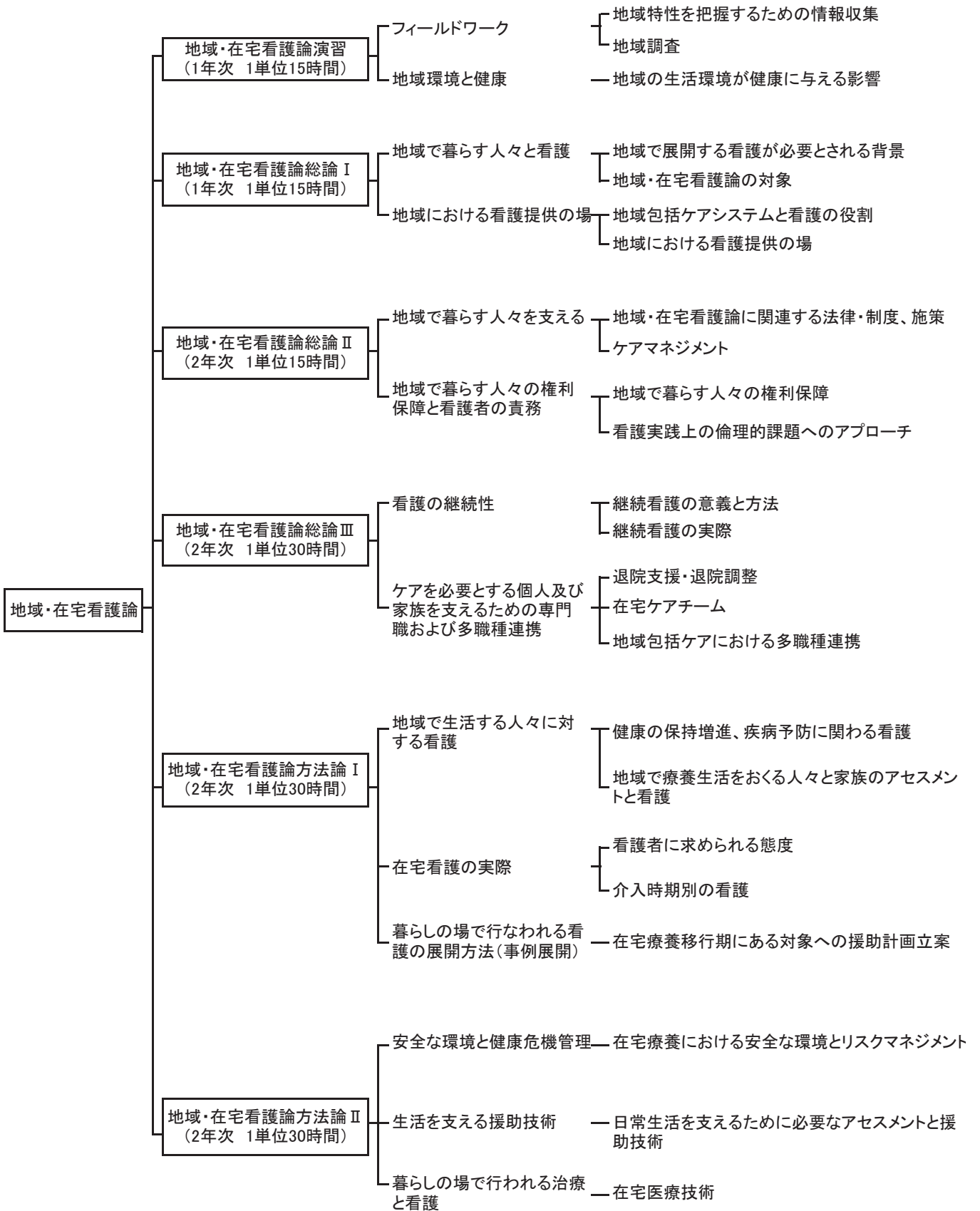
1. 学年の枠を超え価値観の多様性に触れ、望ましい人間関係を形成するために必要な能力を育成する。
2. 組織・集団の一員であるという自覚をもち、責任ある行動、調整力を育成する。

項目	目的
入学式	看護を学ぶための出発点とし、看護者になる自覚をもつ
入学ガイダンス	看護基礎教育の目指すものを理解し、新しい環境に適応できるようにする 学校生活が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 学校の教育方針と学生の教育態度の確認 ② 学習への意欲をもり立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 授業に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を身に着けさせる ⑤ 学生同士、教員同士、学生と教員の人間関係の場
新入生歓迎会	新一年生の先輩として、教員とともに歓迎交流の会とする
実習激励会	学生個々が臨地実習の目標達成を願い、学生相互の激励の場とする
1年生間交流研修	新一年生間の交流をとおして、お互いを理解し仲間作りの機会とする
防犯対策講話	東警察署より防犯対策の知識を学び自己の生活管理に役立て健全な学校生活を送る
個人情報取り扱い講話	弁護士による講話から本校の学生として法令を遵守した日常生活を送る
健康診断・血液検査・胸部レントゲン撮影	学生の健康状態を把握し、学生個々が健康管理の重要性を自覚する
防火訓練	災害時の対処方法を学び、安全に対する知識と関心を深め事故防止に努める
遠足	学生・教員間の交流を深め、集団生活のあり方を学ぶ
看護の日	地域でのボランティア活動を通して地域住民、仲間とのつながりを実感する
戴帽式練習 戴帽式	看護に対する学びの姿勢を整え、看護の精神を受け継ぐ動機づけの場とする
看護協会研究発表聴講	① 北海道看護職員の活動の実際に参加することで、自己における専門職としての意識向上をはかる ② 看護研究に役立てる
札幌医科大学標本館見学	歴史ある医療に関する標本を見学することで、解剖生理学他基礎知識を深める
実習ガイダンス	実習が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 実習の目的と学生の教育態度の確認 ② 実習への意欲をもり立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 実習に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を自覚させる
実習報告会	実践した看護を振り返り自己課題を明確にし、看護観を確立していく
2年生看護研究発表聴講	先輩達の研究発表を聴講する事で、看護研究の意義を理解し看護の学びを深める
予餞会	卒業前に卒業生に対して旅立ちを祝う会
卒業報告会	3年間の学業を修め学校での学び仲間との思い出、将来の目標等を、教員参加で語る会
卒業特別講演	社会的視野を広げ教養を深めるとともに、広い視野から看護を考える機会とする
卒業式練習	卒業式が滞りなく終了するよう練習を行う
卒業式	看護基礎教育の全課程修了者に証書授与し認定する 卒業生は看護基礎教育の修了者であることの自覚を高める 在校生は卒業生を祝い、思いやりの心を養う

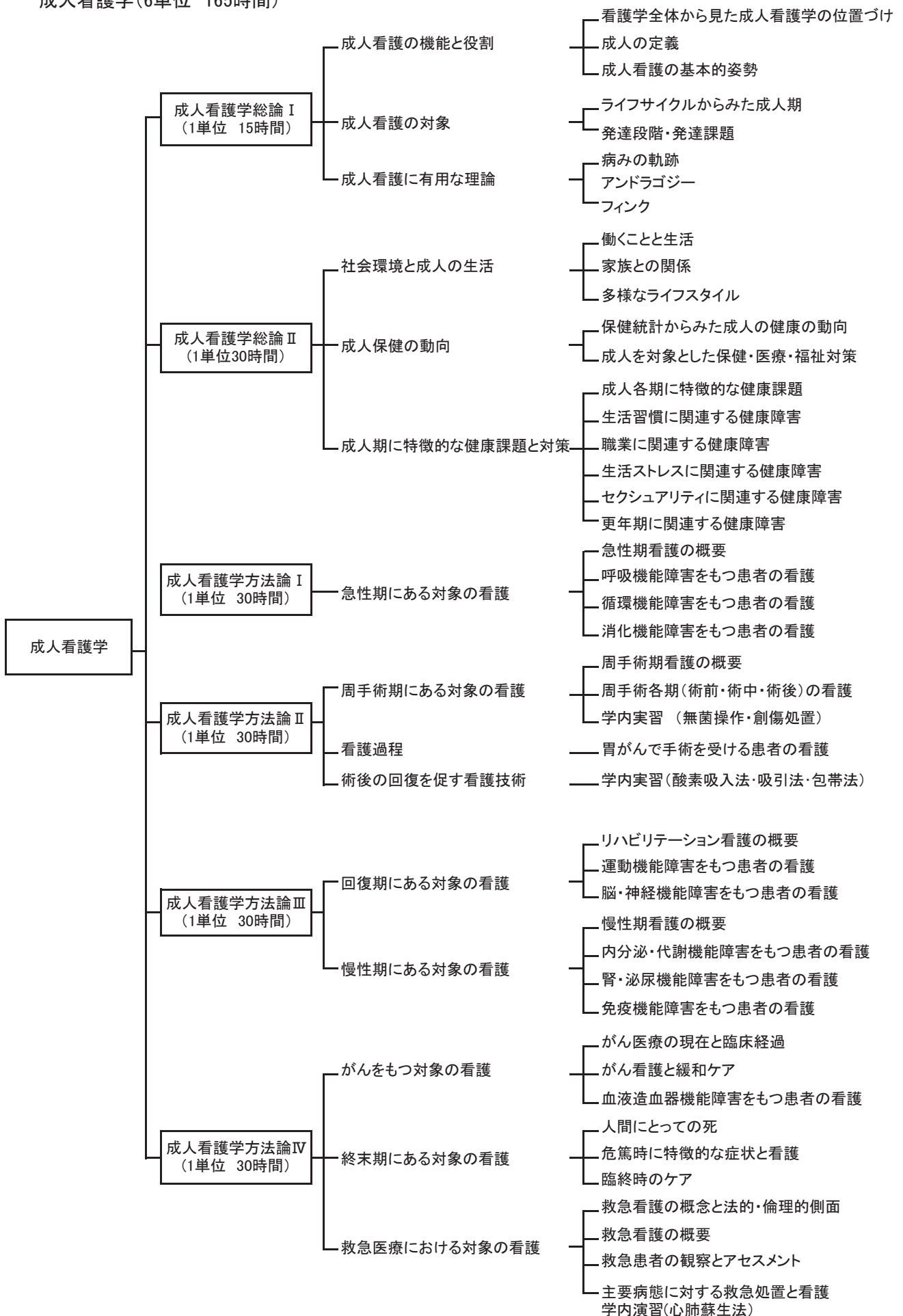
基礎看護学(12単位 345時間)



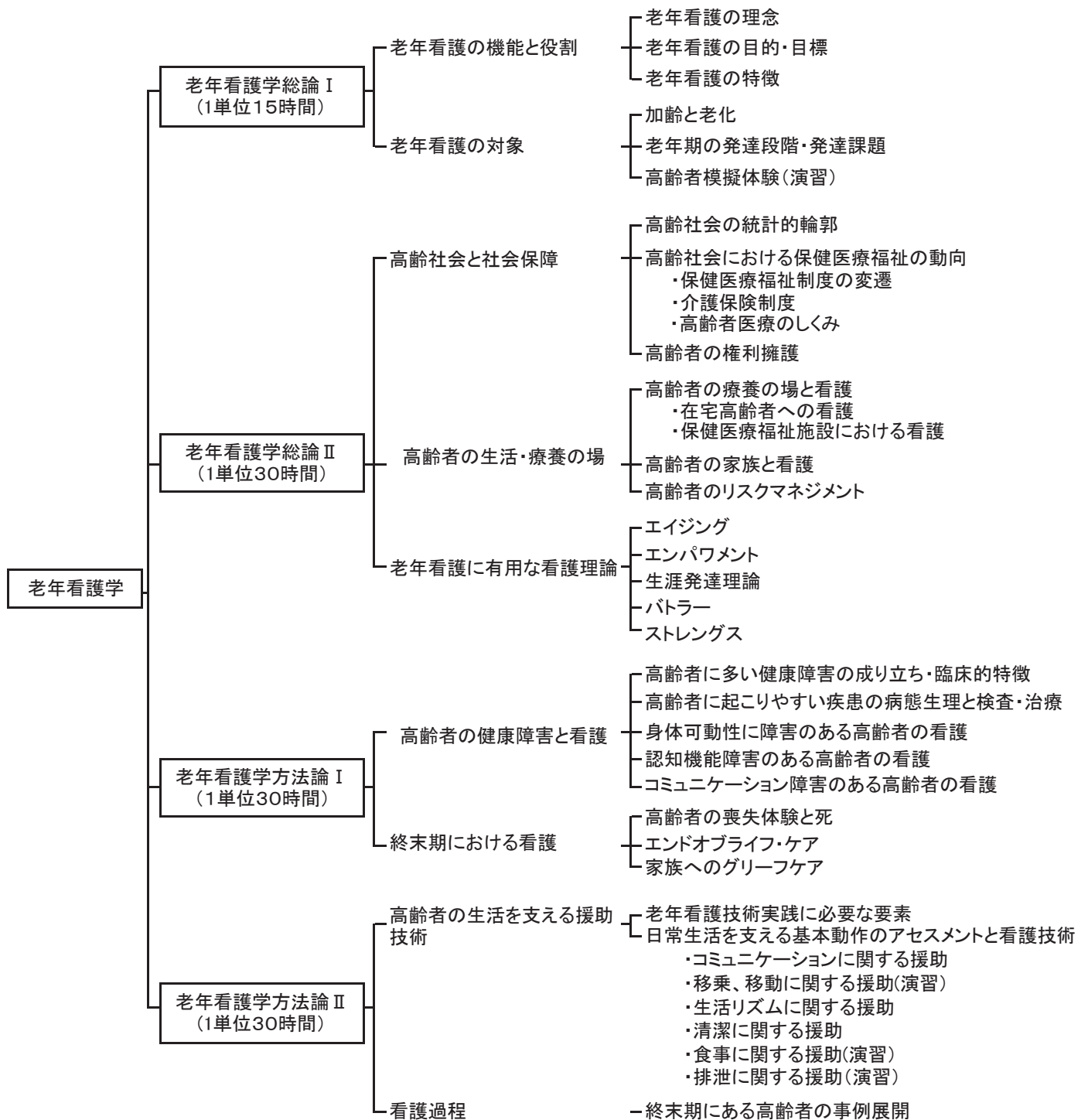
地域・在宅看護論(6単位 135時間)



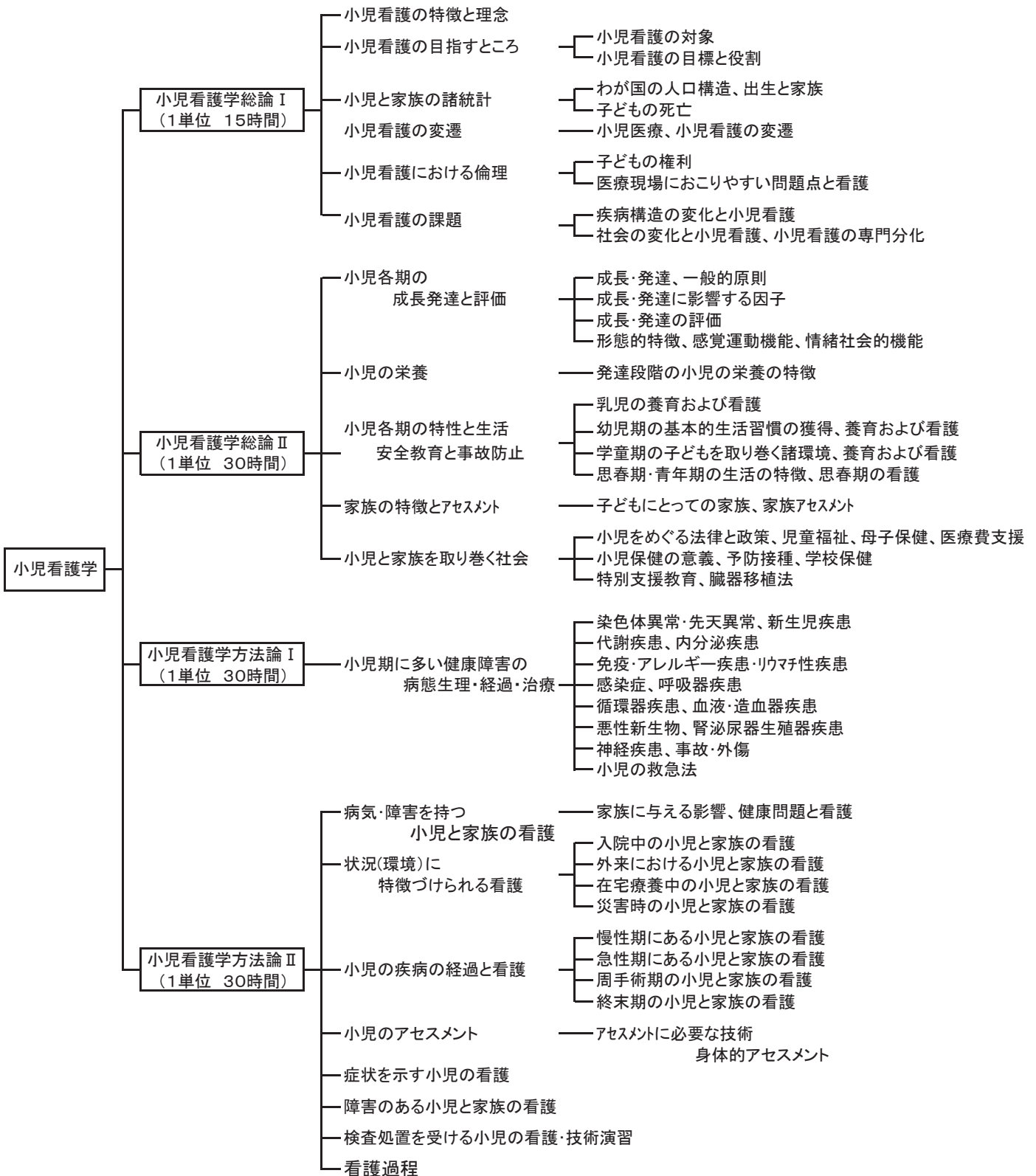
成人看護学(6単位 165時間)



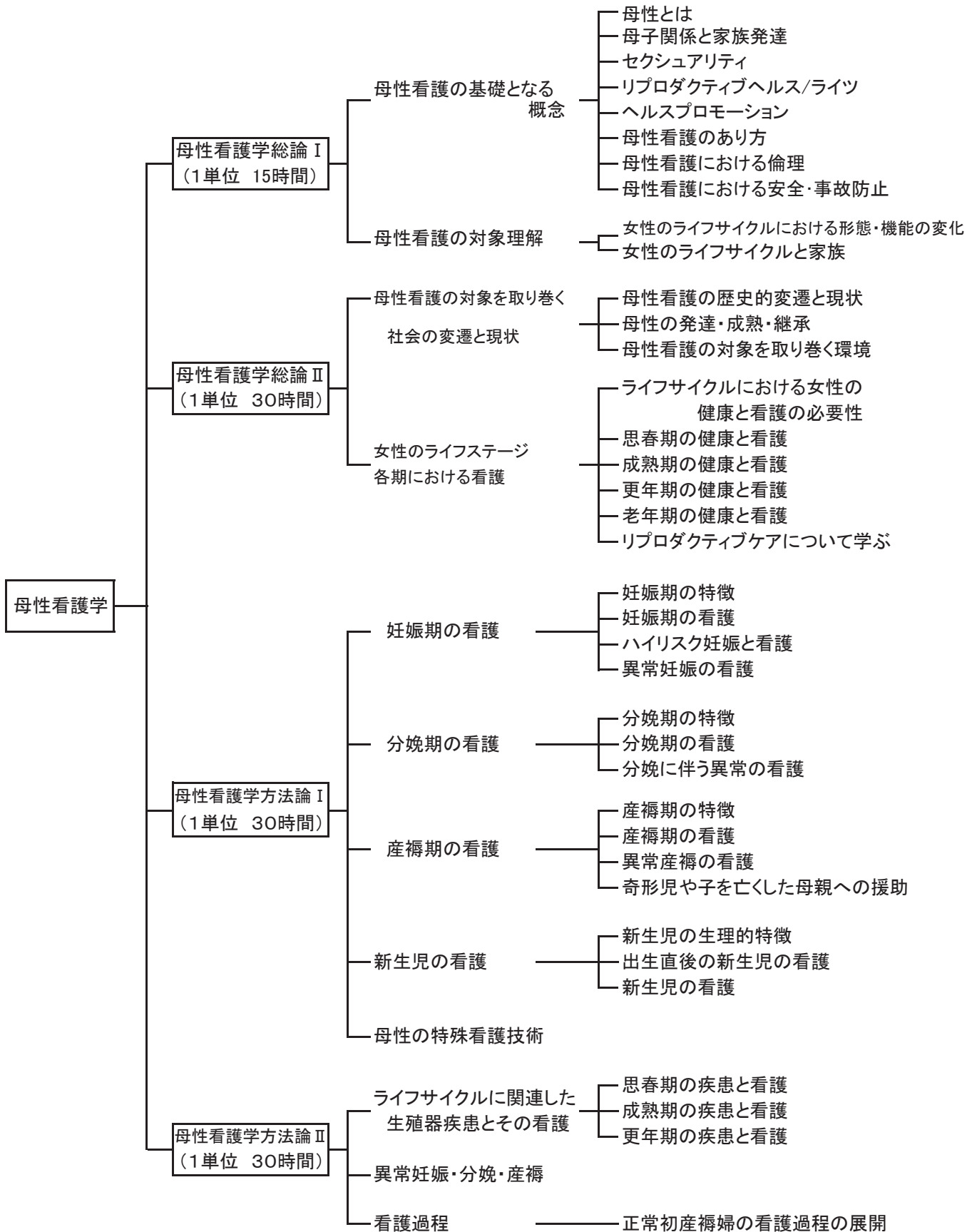
老年看護学(4単位 105時間)



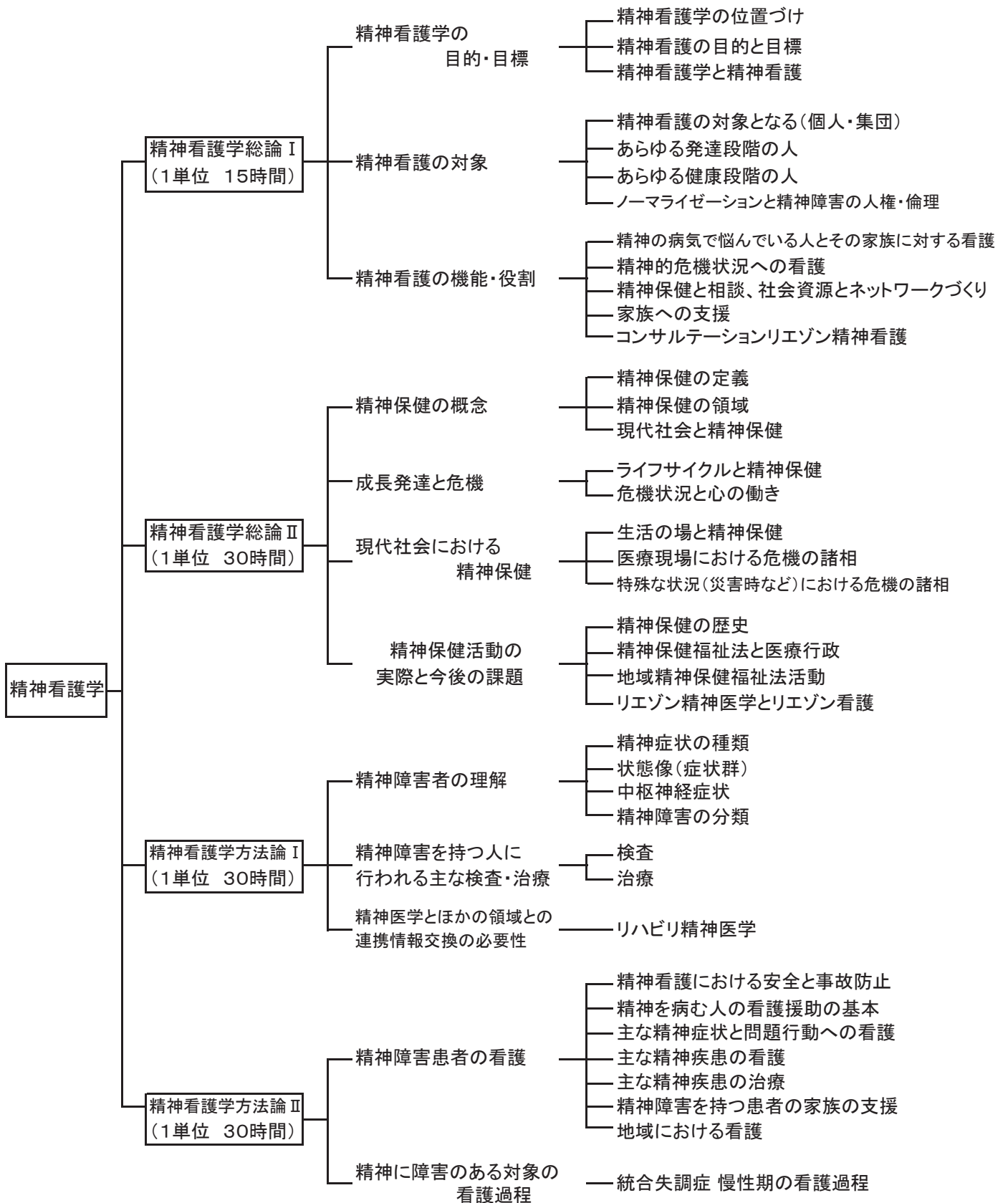
小児看護学 (4単位 105時間)

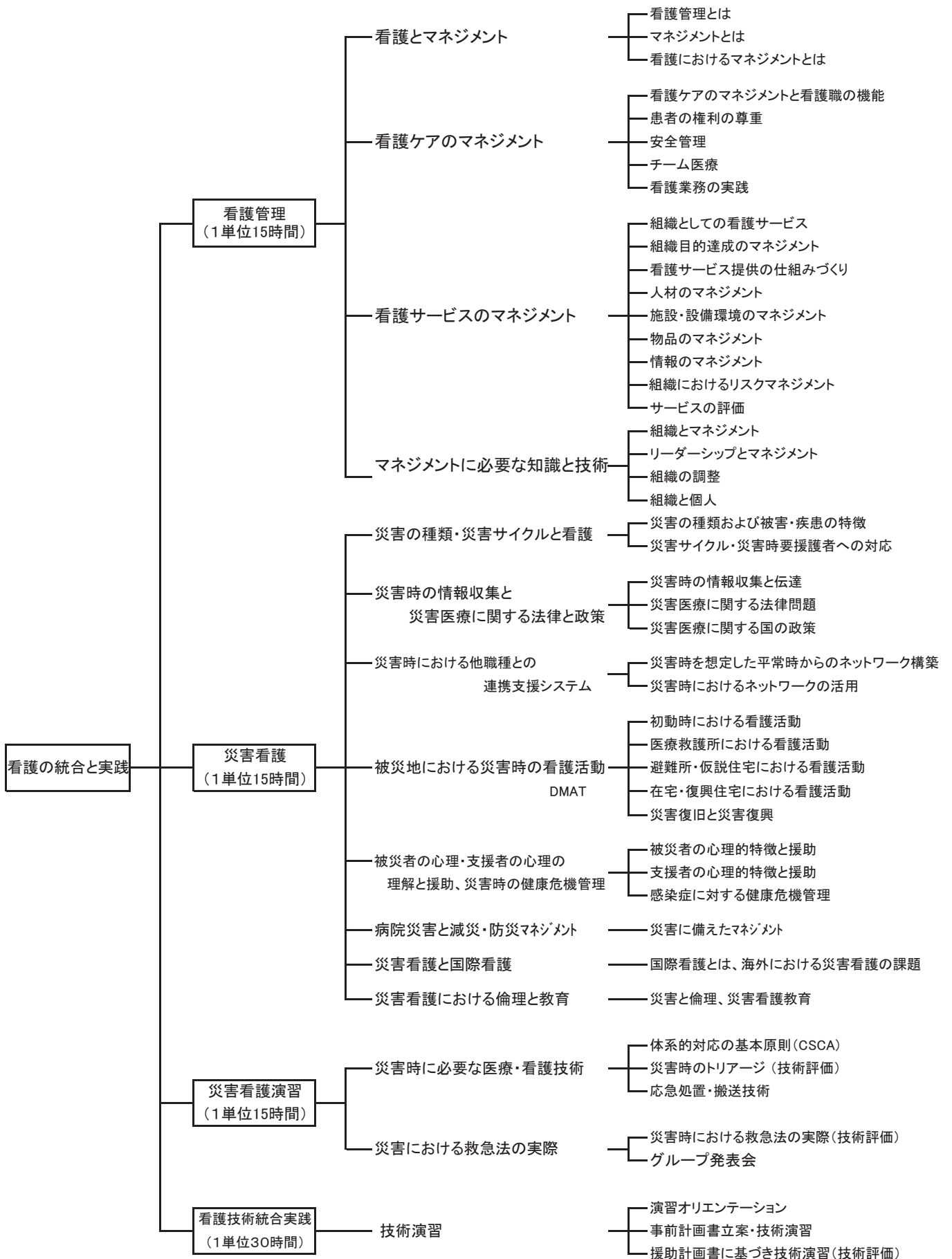


母性看護学 (4単位 105時間)



精神看護学 (4単位 105時間)





科目進度計画表(1学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎分野	看護物理学	森山	→											
	国語表現法	福田								↑				
	英語 I	佐藤有												
	心理学	久原												
	コミュニケーション	石塚												
	文化人類学	菊地												
	倫理学	佐藤郁恵												
	音楽と表現技法	伏見												
	家族論	堺												
	解剖生理学 I	佐藤淳		↑										
	解剖生理学 II	後山 賀来 加藤												
	解剖生理学 III	一木 河田 大島 安彦												
	解剖生理学 IV	杉本 佐野 賀来 永森 安彦 島村												
	解剖生理学演習	永森 吉田真												
	専門基礎分野	病理学総論	森山											
生化学		佐藤淳												
栄養学		上坂												
人の生活と食事		上坂												
臨床薬理学		山崎												
微生物学		澤田												
病態と治療 I		後山 賀来 加藤												
病態と治療 II		一木 河田 大島 安彦												
チーム医療論		土島 松木												
リハビリテーション		富樫												
公衆衛生学		都築												

1 学年

1 学年		専 門 分 野		教 科 科 目												担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																	
基礎看護学	看護学概論 I	看護学概論 II	共通援助技術	生活援助技術 I	生活援助技術 II	生活援助技術 III	フィジカルアセスメント技術	診療援助技術	看護展開技術	生活援助技術実践	臨床看護総論	地域・在宅看護論演習	地域・在宅看護論総論 I	成人看護学総論 I	成人看護学総論 II	老年看護学総論 I	老年看護学総論 II	小児看護学総論 I	母性看護学総論 I	精神看護学総論 I	基礎看護学実習 I	地域・在宅看護論実習 I	藤原	三上	藤原 鎌田	鎌田 齊藤	浦島 坂本	吉田か	藤原	藤原 成田	三上 井上	齊藤	藤原	三上 吉田 坂本	櫻井	櫻井	三上	三上 鎌田	齊藤	齊藤 仲田	坂本	吉田か	鎌田	藤原	櫻井
																							技術の概念・感染予防 安全教育・KYT	食事 排泄	活動・環境・休息・睡眠	衣生活 清潔の援助	フィジカルアセスメント バイタルサイン	診療・検査・処置・薬 注射	看護過程・事例展開(回復期の看護過程)	健康障害にある対象・家族理解 健康レベル別看護・主 要症状と看護・治療別看護	成人看護の機能と役割	老年看護の機能と役割 老年看護の対象	高齢社会と社会保障・高齢者の生活療養の場、老年看護に 有用な看護理論	小児看護の変遷・目的と役割	母性看護の基盤となる概念 母性看護の対象理解	精神看護の意義、対 象・役割・機能の理解									

科目進度計画表(2学年)

		教科科目														
		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
2 学年	専門分野	基礎分野	論理学													
		情報科学と統計	石飛													
		専門基礎	臨床検査	西川												
			病態と治療Ⅲ	佐野 賀来 永森 安彦 島村												
		基礎分野	治療法概論	蔵前 住田												
			社会福祉	星												
			関係法規	水野												
		地域・在宅看護論	看護研究	吉田												
			地域・在宅看護論総論Ⅱ	照井												
			地域・在宅看護論総論Ⅲ	石谷 櫻井												
			地域・在宅看護論方法論Ⅰ	高橋 櫻井												
			地域・在宅看護論方法論Ⅱ	鈴木 櫻井 磯田 小山内 赤石												
			成人看護学方法論Ⅰ	成田 三上												
成人看護学方法論Ⅱ	鎌田 榊引 伊藤 福島 成田															
成人看護学方法論Ⅲ	渡辺 井上															
成人看護学方法論Ⅳ	富田 鈴木 原谷															
老年看護学方法論Ⅰ	齊藤 浦島															
老年看護学方法論Ⅱ	山谷 松浦 坂本															
小児看護学方法論Ⅰ	松浦															
小児看護学方法論Ⅱ	宮部 小林 坂本															
母性看護学方法論Ⅰ	吉田か															
母性看護学方法論Ⅱ	吉藤 吉田か															
精神看護学方法論Ⅰ	佐々木美貴子 村本															
精神看護学方法論Ⅱ	鎌田 佐々木眞															

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生	臨地実習	基礎看護学実習Ⅱ		↔										
		成人看護学実習Ⅰ						↔	↔					
		老年看護学実習Ⅰ							↔	↔				
		老年看護学実習Ⅱ							↔	↔				

科目進度計画表(3学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎分野	英語Ⅱ	佐藤有									↑			
	社会学	鄭									↑			
専門基礎	教育学	杉浦									↑			
	総合医療論	島村								↑				
専門分野	看護管理	草薨						看護サービスのマネジメント 看護を取り巻く諸制度 マネジメ ントに必要と技術						
	災害看護	井上 吉小牧 王子病院 DMAT						↑						
	災害看護演習	中川							災害演習→					
	看護技術統合実践	藤原								技術演習→				
	成人看護学実習Ⅱ	三上		↓					↑					
	老年看護学実習Ⅲ	齊藤		↓					↑					
	小児看護学実習	坂本		↓						↑				
	母性看護学実習	吉田か		↓						↑				
	精神看護学実習	鎌田		↓						↑				
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	櫻井		↓						↑				
看護統合実習	藤原									↕				

3 学年

学内実習・演習進捗表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学年			共通援助技術 → ・ガウン・テクニック ・衛生的な手洗い ・滅菌手袋の装着 ・KYT演習	生活援助技術Ⅱ → ・体位変換・移乗・移送 ・ベット・ターキン ・嚥下法	生活援助技術Ⅰ → ・食事介助・口腔ケア ・便・尿管の挿入	生活援助技術Ⅲ → ・寝衣交換 ・足浴 ・全身清拭 (陰部清拭)	生活援助技術Ⅲ → ・洗髪	生活援助技術Ⅲ → ・洗髪	生活援助技術Ⅲ → ・洗髪	基礎看護学実習Ⅰ → 診察援助技術 → ・点滴静脈内注射・輸液ポンプの取扱い ・採血法 ・皮下注射・筋肉注射 ・救急蘇生法(AEDの取り扱い)		
2学年	老年看護学看護技術 → ・車椅子移乗・移動		老年看護学看護技術 → ・食事介助・口腔ケア → ・陰部洗浄・オムツ交換	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置	成人看護学看護技術 → ・無菌操・創傷処置・包帯法 ・吸引(口腔内・気管内) ・救命救急処置
3学年			成人Ⅱ、老年Ⅲ、小児、母性、精神看護学、地域・在宅看護論実習Ⅱ → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)	成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習 → 看護研究(吉田)

看護師教育の技術項目と卒業時の到達度(学内実習・演習)

＜演習＞ I：モデル人形もしくは学生間で単独で実施できる

II：モデル人形もしくは学生間で指導の下で実施できる

学年	期	科目	技術項目	レベル	学内実習・演習
1年	前期	共通援助技術	57 スクワート・アプリケーション(標準予防策)に基づく手洗い	I	衛生的な手洗い
			58 必要な防護用具の選択・着脱	I	滅菌手袋の装着 ガウンテクニック KVT演習
1年	後期	生活援助技術Ⅰ	3 食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	I	食事介助
			26 口腔ケア	I	口腔ケア(歯磨き・含嗽)
			7 排泄援助(床上、ポータブルトイレ、おむつ等)	I	床上排泄(便器介助)
			10 洗腸 11 摘便 12 ストーマ管理	I	(知識)
1年	後期	生活援助技術Ⅱ	1 快適な療養環境の整備	I	(体験)
			13 車椅子での移送 14 歩行移動介助	I	ベッドメーカーキング 体位変換、移動移乗
			15 移乗介助 16 体位変換 保持 18 ストレッチャー移送	I	(車椅子・ストレッチャー)
			17 自動・他動運動の援助	I	(体験)
			29 体温調節の援助	I	冷電法・温電法
1年	後期	生活援助技術Ⅲ	21 点滴ドレーンなどを留置していない患者の寝衣交換	I	寝衣交換
			19 足浴 手浴	I	足浴
			25 洗髪 20 整容	I	洗髪 整容
			24 清拭	I	全身清拭
1年	後期	フィジカルアセスメント	52 フィジカルアセスメント	I	身体診査(触診・聴診・打診)と観察
			50 バイタルサインの測定	I	バイタルサインの測定
			51 身体計測	I	身体計測
1年	後期	診療援助技術	56 検査の介助	I	AED (知識)
			54 簡易血糖測定	II	(知識)
			55 静脈血採血 53 検体取り扱い	II	静脈血採血
			38 経口薬 39 経皮外用薬の投与 40 座薬の投与	I II	(体験)
			41 皮下注射 42 筋肉内注射	II	皮下注射 筋肉内注射
			43 静脈路確保・点滴静脈内注射	II	点滴静脈内注射(翼状針)
			44 点滴静脈内注射の管理	II	輸液ポンプ
			62 針刺し事故防止・事故後の対応	I	(知識)
			45 薬剤などの管理(毒薬…血液製剤、抗悪性腫瘍薬含む)	II	(知識)
			46 輸血の管理	II	(知識)
			67 人体へのリスクの大きい薬剤の暴露予防策の実施	II	(知識)
			56 検査の介助	I	(知識)
			1年	後期	生活援助技術実践
1年	後期	老年看護学総論Ⅰ			高齢者模擬体験
2年	前期	成人看護学方法論Ⅱ	36 創傷処置(創洗浄、創保護、包帯法)	II	無菌操作・創傷処置
			37 ドレーン類の挿入部の処置	II	(知識)
			30 酸素吸入療法の実施	I	酸素吸入法
			32 口腔内 鼻腔内吸引	II	吸引法
			33 気管内吸引	II	(知識)
			34 体位ドレナージ	I	(知識)
			31 ネブライザーを用いた気道内加湿	I	(知識)
2年	前期	成人看護学方法論Ⅳ	48 一時救命処置	I	心肺蘇生法(一次救命処置)
			47 緊急時の応援要請	I	
2年	前期	老年看護学方法論Ⅰ	35 褥瘡予防ケア	II	(知識)
			65 安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防)	I	(知識)
2年	前期	老年看護学方法論Ⅱ	23 陰部の保清		陰部洗浄 おむつ交換
2年	前期	母性看護学方法論Ⅰ	28 新生児の沐浴・清拭		新生児の沐浴
2年	後期	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	6 経鼻胃チューブの挿入	I	経鼻胃チューブ挿入
			5 経管栄養法による流動食の注入	I	(知識)
			9 導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入	II	膀胱留置カテーテルの挿入
			8 膀胱留置カテーテルの管理	I	(知識)
3年	後期	災害看護	49 止血法の実施	I	止血法
3年	後期	看護技術統合実践	27 点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換	I	点滴留置患者の寝衣交換
			68 医療機器の操作・管理	II	輸液ポンプ 酸素ポンプ
共通			59 使用した器具の感染防止の取り扱い	I	
			60 感染性廃棄物の取り扱い	I	
			63 インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告	I	
			64 患者誤認防止の実施	I	
			69 安楽な体位の調整	I	
			70 安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア	I	
その他			71 精神的安寧を保つためのケア	I	
			22 入浴・シャワー浴の介助	I	(知識)
			66 放射線被ばく防止の実施	I	(知識)

年間臨地実習計画表

月	前期				後期				3
	1	2	3	4	5	6	7	8	
1 学年					夏季休暇				1
2 学年					基礎看護学実習Ⅱ				2
					地域・在宅看護論実習Ⅰ				3
					成人看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ				4
3 学年					看護統合実習				5
					看護統合実習				6
					成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅲ				7
					小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅				8
				小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅				9	
				小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅				10	
				小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅				11	
				小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅				12	
				看護統合実習				13	
				看護統合実習				14	
				看護統合実習				15	
				看護統合実習				16	
				看護統合実習				17	
				看護統合実習				18	
				看護統合実習				19	
				看護統合実習				20	
				看護統合実習				21	
				看護統合実習				22	
				看護統合実習				23	
				看護統合実習				24	
				看護統合実習				25	
				看護統合実習				26	
				看護統合実習				27	
				看護統合実習				28	
				看護統合実習				29	
				看護統合実習				30	
				看護統合実習				31	
				看護統合実習				32	
				看護統合実習				33	
				看護統合実習				34	
				看護統合実習				35	
				看護統合実習				36	
				看護統合実習				37	
				看護統合実習				38	
				看護統合実習				39	
				看護統合実習				40	
				看護統合実習				41	
				看護統合実習				42	
				看護統合実習				43	
				看護統合実習				44	
				看護統合実習				45	
				看護統合実習				46	
				看護統合実習				47	
				看護統合実習				48	
				看護統合実習				49	
				看護統合実習				50	
				看護統合実習				51	
				看護統合実習				52	

分野別実習単位・時間・実習施設一覧

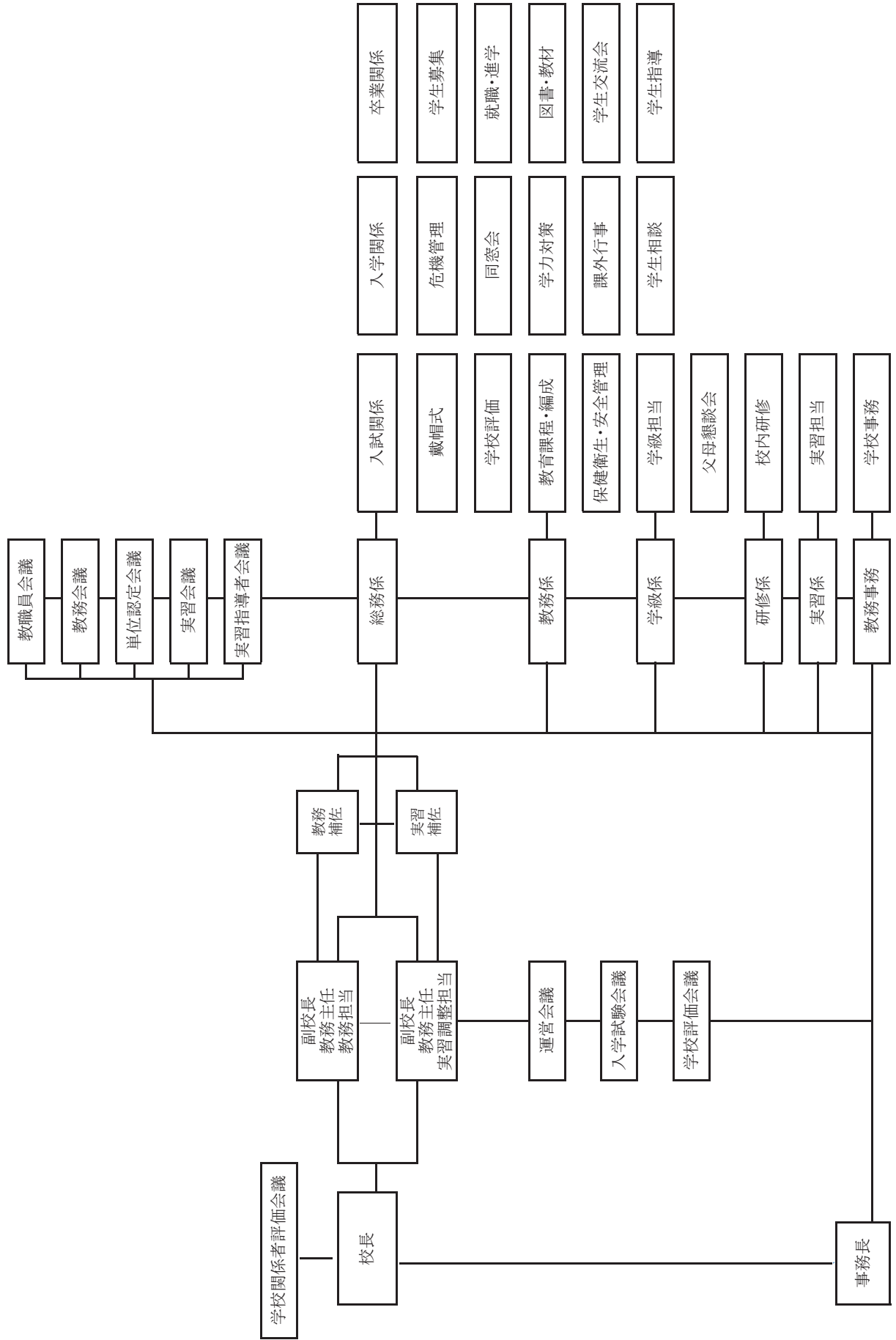
実習科目		単位	時間数	実習時期	実習施設
基礎看護学実習	基礎看護学実習Ⅰ	2	90	1年次後期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人 恵佑会札幌病院
	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	2年次前期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台病院 社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 医療法人社団 土田病院
地域・在宅看護論実習	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	30	1年次前期	社会福祉法人三草会 リハケアセンター篠路 グループホームもえれのお家 デイサービスさずな パン工房あんびしやす 株)ツクイ ツクイ札幌麻生 看護小規模多機能型居宅介護 就労支援施設B型事業所 就労支援センター さくら 地域活動センター ウッディトイズ
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90	3年次前期	医療法人社団棕櫚の会 ホサナファミリークリニック 医療法人ささえる医療研究所 ささえるクリニック岩見沢 ささえるクリニックきたひろ 社会医療法人関愛会 江別訪問診療所 社会医療法人三草会 訪問看護ステーションアシスト 札幌東区第2地域包括支援センター
成人看護学実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期～後期	社会医療法人 恵佑会第2病院 社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 医療法人社団明生会 イムス札幌消化器中央総合病院
	成人看護学実習Ⅱ	2	90	3年次前期	社会医療法人 恵佑会札幌病院
老年看護学実習	老年看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期～後期	社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 特定医療法人 柏葉脳神経外科病院 社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院 社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台病院 社会医療法人社団三草会 クラーク病院 介護老人保健施設もえれパークサイド
	老年看護学実習Ⅱ	2	90		
	老年看護学実習Ⅲ	2	90	3年次前期	医療法人社団 土田病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院
小児看護学実習	小児看護学実習	2	90	3年次前期	社会医療法人母恋 天使病院 小樽市立病院 医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ 北海道済生会小樽病院 重症心身障がい児(者)施設 みどりの里 札幌愛隣館保育園
母性看護学実習	母性看護学実習	2	90	3年次前期	エナ・みらいグループ エナレデースクリニック
精神看護学実習	精神看護学実習	2	90	3年次前期	社会医療法人社団三草会千歳桂病院
看護統合実習	看護統合実習	2	90	3年次後期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人 恵佑会札幌病院

学年年間計画

1 学 年		2 学 年		3 学 年	
月	内 容	月	内 容	月	内 容
4	入学式 入学ガイダンス 新入生歓迎会 HR運営ガイダンス (学校生活、クラス役員選出) 各修学・奨学資金の説明 2・3年生実習激励会 東警察署防犯対策講話 個人情報保護法について講話 1年生間交流会 学生の心構え	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス (年内計画、クラス役員選出) 新入生歓迎会 基礎看護学実習Ⅱガイダンス 実習激励会 学校検診 前期学生の心構え 学生個人指導	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス (年内計画、クラス役員選出) 新入生歓迎会 学校検診 領域別実習ガイダンス 実習激励会 学内技術実習・演習 実習指導 就職指導
5	学生個人面談 看護の日 学内技術実習・演習 遠足企画 学力対策 学生個人指導 避難訓練	5	成人看護過程演習 看護の日 基礎看護学実習Ⅱ実習指導 基礎看護学実習Ⅱ実習報告会 学力対策 学生個人指導	5	看護の日 領域別実習指導 国家試験業者模擬試験 学生個人指導 就職指導
6	学生個人面談 学内技術実習・演習 遠足企画 学力対策 学校検診	6	遠足企画 基礎看護学実習Ⅱ実習単位認定 学生個人指導 学力対策 老年看護過程演習 学内技術実習・演習 看護研究導入 学生個別指導	6	領域別実習指導 学生個人指導 国家試験業者模擬試験 就職指導
7	学生個人指導 学内技術実習・演習 戴帽式準備 1.2年合同遠足 学力対策	7	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策 1.2年合同遠足 看護研究個別指導	7	領域別実習指導 学生個人指導 就職指導
8	後期学校生活心構え指導 戴帽式総練習 戴帽式 地域・在宅看護論実習Ⅰガイダンス 地域・在宅看護論実習Ⅰ指導 1年生実習激励会 学力対策	8	学内技術実習・演習 後期学校生活心構え指導 学生個人指導 学力対策 1年生実習激励会 看護研究個別指導	8	領域別実習指導 学生個人指導 就職指導 国家試験業者模試
9	学生個人指導 地域・在宅看護論実習Ⅰ報告会 札幌医科大学解剖標本館見学 地域・在宅看護論実習Ⅰ単位認定会議	9	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習ガイダンス 実習激励会 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 学生個人指導 看護研究個別指導	9	領域別実習指導 国家試験ガイダンス 学生個人指導 就職指導
10	消火訓練 学生個人指導 前期成績会議 父母懇談会企画実施 学内技術実習・演習 学力対策	10	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 前期成績会議 看護研究個別指導 学生個人指導	10	学内技術実習・演習 就職指導 国家試験業者模擬試験
11	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	11	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習報告会 学生個人指導 学力対策 看護研究個別指導	11	就職指導 父母懇談会企画実施 看護統合実習ガイダンス 学内技術実習・演習 国家試験手続き 看護統合実習指導
12	看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	12	学生個人指導 父母懇談会企画実施 小児看護過程演習 学内技術実習・演習 看護研究個別指導	12	看護統合実習指導 学生個人指導 看護協会学会発表聴講予定
1	看護過程演習 看護研究聴講 基礎看護学実習Ⅰガイダンス 基礎看護学実習Ⅰ実習指導 学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	1	母性看護過程演習 学力対策 学内技術実習・演習 学生個人指導 成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ実習単位認定会議	1	看護統合実習単位認定会議 国家試験業者模試
2	学校設立記念日 基礎看護学実習Ⅰ実習指導 基礎看護学実習Ⅰ報告会 基礎看護学実習Ⅰ単位認定会議 看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 2年生看護研究発表聴講 修学資金借用提出	2	学校設立記念日 精神・地域・在宅看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 修学資金借用提出 看護研究発表	2	学校設立記念日 看護師国家試験 卒業報告会 卒業認定会議
3	国家試験低学年用業者模擬試験 就職ガイダンス 1年次単位認定会議 予餞会 卒業特別講演 卒業式 各修学・奨学資金継続準備	3	2年次単位認定会議 就職・国家試験ガイダンス 国家試験低学年用業者模擬試験 卒業式 予餞会 卒業特別講演 各修学・奨学資金継続準備	3	予餞会 卒業特別講演 卒業報告会 各修学・奨学資金卒業手続き 卒業式練習 同窓会説明 卒業式

＜学校運営組織図＞

1. 校務分掌組織図



係りの重点目標

係	重点目標
総務係	・各係、各学年との連絡を密にして学務内容の充実、運営の円滑化を図る
教務係	・教育課程の適切な構成と運用を行い、各分掌や各学年間の連絡調整に努め、校務運用の円滑化を図る
学級係	・集団への適応力を高め協調性（協働による仲間作り）を養う ・授業規則と学習の習慣・定着をはかり、基礎学力の向上を図る ・集団生活を通して自己を認識させるとともに主体的規律ある生活習慣の確立を図る
実習係	・教育課程達成のため、各係及び各実習施設との連携を図り、適切な実習計画を立案し、実習に内容の充実を図る
教員研修係	・教育実践力を高め、教員の質向上を図る
教務事務	・各係と連携を図り、教務資料の準備、作成、整理、データ処理を行う

校務分掌担当教員

係名	責任者	教職員名
総務係	校長	藤原副校長(教務主任兼務・実習担当) 事務長 櫻井副校長(教務主任兼務・教務担当)
教務係	櫻井副校長 (教務主任兼務・教務担当)	藤原副校長(教務主任兼務) 吉田教務補佐 鎌田 齊藤実習補佐 坂本
学級係	櫻井副校長 (教務主任兼務・教務担当)	1年担任 鎌田 副担任 三上 成田 2年担任 齊藤 副担任 浦島 3年担任 坂本 副担任 吉田教務補佐
実習係	藤原副校長 (教務主任兼務・実習担当)	齋藤実習補佐 櫻井副校長(教務主任兼務・教務担当) 三上 坂本 吉田か 鎌田 成田 浦島 井上 佐々木 原谷 中川
教員研修係	吉田教務補佐	齋藤実習補佐 成田 浦島
教務事務	松田事務長	松井 加藤

校務分掌 業務分担

係り	責任者	業務	主幹	担当教員
総務係	校長	入学試験	校長	藤原 櫻井
		入学式	校長	藤原 櫻井 鎌田 三上
		卒業式	校長	藤原 櫻井 坂本 吉田
		戴帽式	校長	藤原 櫻井 鎌田 三上
		危機管理	校長	藤原 櫻井 吉田 齊藤
		学生募集	校長	藤原 櫻井 事務長 吉田 齊藤
		就職・進学	校長	藤原 櫻井 坂本 吉田
		同窓会	校長	藤原 櫻井 事務長
		学校評価	校長	藤原 櫻井 事務長 他全教職員
		学校関係者評価	校長	事務長
教務係	櫻井	教育課程編成	校長	藤原 櫻井
		教育計画 授業計画	校長	藤原 櫻井
		学生便覧	櫻井	藤原
		学力対策 国家試験対策	藤原	櫻井 鎌田 齋藤 坂本 他全教員
		図書・学生図書教材	成田	櫻井 三上 浦島 事務長
		保健衛生・安全管理	浦島	藤原 鎌田 吉田
		課外行事・学生交流会	吉田	浦島 成田 鎌田 齊藤 坂本
		就職・進学相談	校長	櫻井 坂本
学級係	櫻井	学級担当 学生相談・ 学生指導	鎌田 齊藤 坂本	三上 成田 浦島 吉田
		時間割調整	櫻井	鎌田 齊藤 坂本
		父母懇談	櫻井	鎌田 齊藤 坂本
実習係	藤原	臨地実習要綱 臨地実習指導要綱 各看護学実習要綱 各看護学実習指導要綱 各臨地実習会議調整 各臨地実習会議実施	藤原	櫻井 三上 齊藤 坂本 吉田 鎌田 成田 浦島 井上 原谷 佐々木 中川
教員研修係	齊藤	校内研修	吉田	成田 浦島
教務事務係	事務長	教務事務	事務長	松井 加藤

領域別看護学担当教員及び業務マトリックス

	校長	藤原	櫻井	三上	齊藤	吉田	坂本	鎌田	成田	浦島	事務
科目の担当領域		基礎看護学 看護の統合と実践 (基礎看護技術)	地域・在宅看護論 (基礎看護技術)	成人看護学 (基礎看護技術)	老年看護学 (基礎看護技術)	母性看護学 (基礎看護技術)	小児看護学 (基礎看護技術)	精神看護学 (基礎看護技術)	成人看護学 (基礎看護技術)	老年看護学 (基礎看護技術)	
		○	○	○							○
総務係	入試	☆◎	○	○							○
	入学	☆◎	○	○				○			○
	卒業	☆◎	○	○			○				○
	戴帽式	☆◎	○	○				○			○
	危機管理	☆◎	○	○		○					○
	学生募集	☆◎	○	○		○					○
	就職・進学	☆◎	○	○		○					○
	同窓会	☆◎	○	○							○
	学校評価	☆◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校関係者評価	☆◎	○	○							○
教務係	教育課程編成	◎	○	☆○							○
	教育計画・授業計画	◎	○	☆○							○
	学生便覧		○	☆◎							
	学力対策(国家試験を含む)		◎	☆○	○	○	○	○	○	○	○
	図書・教材			☆○	○				◎	◎	○
	保健衛生・安全管理		○	☆		○		○		◎	○
	課外行事・学生交流会			☆		○		○	○	○	○
	就職・進学相談	◎		☆○				○			
	時間割調整			☆◎							
	学級担当 学生相談・指導			☆	1学年 副担任	◎2学年 担任	3学年 副担任	◎3学年 担任	◎1学年 担任		2学年 副担任
学級係	父母懇談		☆◎		○		○	○			○
	実習担当		☆◎	○	○	○	○	○	○	○	
研修係	校内研修・研究グループ				☆	◎			○	○	

☆印は責任者 ◎印は主幹 ○は担当者

4期生 看護研究

担当教員	学生氏名	テーマ
櫻井 美奈子	末木 唯人	セルフケアの維持・向上に向けた退院指導 —対象のストレングスを活かした支援—
	鈴木 汐里	左片麻痺患者への転倒予防に向けた退院指導 —個性別のある指導が患者に与える影響とは—
吉田 かつえ	西山 実来	傾眠傾向のある認知症患者への看護 —ユマニチュード・ケア技法を用いた看護介入の効果—
	右手 七彩	終末期にある患者の苦痛とその家族への援助 —コロナ禍に余命宣告を受けた患者と家族に対する看護師の役割—
齊藤 まどか	米谷 桜	心筋梗塞患者に対する再梗塞防止のための生活指導 —2度目の心筋梗塞を経験した対象との関りを通して—
	松田 奈々	元看護師に対する退院指導を通しての関わり —知識がある対象に対する退院指導の意味—
	佐藤 天音	認知機能が低下している対象への看護 —コミュニケーションが及ぼす影響—
三上 麻美	中山 穂乃花	高齢者とのコミュニケーション方法 —意欲を引き出すための個性別のある声掛けの工夫—
	飛野 知愛	認知機能障害のある患者との関わり —気分がムラがある患者に対してのコミュニケーションの工夫—
	鎌田 芽生	信頼関係構築のコミュニケーションを考える —表情が乏しい対象を通しての学び—
坂本 容子	高部 藍璃	適切な生活指導時期への看護 —危機理論を活用し患者の反応から振り返る—
	加藤 ももよ	腰椎圧迫骨折し離床が進まない認知高齢者へ看護 —自己効力感を高めるADL拡大につながった一事例—
	佐藤 昌宏	信頼関係を構築するコミュニケーション —高次脳機能障害患者との一事例—
鎌田 たまみ	加藤 真代	脳梗塞患者への退院指導を経て —効果的な退院指導について—
	西田 優輝	化学療法を受けるがん患者との関わり —がん患者との精神的側面に目を向けた関わり—
	工藤 彩乃	がん患者に対するコミュニケーション —不安を抱える患者とのコミュニケーション—
井上 里織	田村 美月	認知症のある対象への継続的な看護 —認知機能が維持・向上しやすい看護を考える—
	吉田 紗希	日中の活動性を向上させる取組が睡眠障害改善に及ぼす影響 —夜間覚醒している認知症患者に対する関わりを振り返る—
	明石 沙織	沈黙により表現された思い —自身の予後について話される患者との関わりを振り返る—
成田 淳人	廣木 桃夏	高齢患者へ安全な歩行を促す看護 —老年期の特徴を踏まえた関わり—
	滝山 夢香	神経過敏傾向にある患者との関係構築へのアプローチ —対象のニーズに合わせリラックスセッションを行ったことでの効果—
	石井 美夢	現実を受け止める患者の心理段階に合わせた対象へのかかわり —対象の治療に向けた意欲を維持する看護介入—

担当教員	学生氏名	テーマ
浦島 愛佳	三間 愛香	認知症高齢者とのコミュニケーション —回想法を行うことによる効果—
	山平 咲	終末期において療養生活に楽しみを持つ看護 —自宅退院がかなわない中、その人らしさを引き出し、 療養意欲を保つ関り—
	東 麻美	抗癌剤の副作用による消化器症状のある患者との関わり —信頼関係の構築に繋がるコミュニケーションと 触れるケアの効果について—
原谷 珠美	角田 遥	配偶者の死別後に食道癌の手術を受けた高齢患者への看護 —がん患者と死の話題に向き合うということ—
	田中 那緒	意欲的にセルフケア再獲得が図れた超高齢患者との関わり
	阿部 舞	壮年期にある潰瘍性大腸炎患者への食事指導 —20年間自己流で食事療法を行ってきた患者の食行動変容を 促した関り方—
吉田 菜摘	藤野 紗央里	ショックによる悲観的言動がみられる高齢患者とのかかわり —死に直面した患者の生きる希望を支える看護—
	折笠 莉々	嚥下機能が低下している患者への誤嚥性肺炎の予防 —QOLの維持・向上のための援助—
	山崎 春奈	看護上のニーズを満たすための関係形成 —思いを伝えることが出来ないという苦痛の緩和—
藤原 未央	佐々木 花菜	セルフケア行動を支援する看護とは —自己決定力のある対象との関わりから学んだこと—
	松岡 勇太	認知症高齢患者への退院支援のあり方 —腹部大動脈瘤破裂予防にむけた水分摂取指導からの学び—

出身校別状況

(順不同)

高等学校名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生
1 札幌北斗	1	1	1	4	2	3	
2 石狩翔陽		1		2	2	3	3
3 札幌英藍	1	2	1		5	1	1
4 札幌北陵	1	5	1			1	1
5 石狩南			2	2	2	2	1
6 札幌稲雲		2	1	1	3	2	
7 札幌東陵		1	1	2	1	2	2
8 札幌創成	2	2		2		1	1
9 札幌西陵	1	3	2	1			
10 札幌平岸	1	1		1		1	2
11 札幌白石	2		1		2		
12 札幌啓北商業	1	1	1			2	
13 札幌手稲	2	2			1		2
14 札幌丘珠	1	1	1	1			
15 札幌藻岩	1	1	1	1	1		
16 北海道科学大学					2	2	
17 札幌清田		1	2			1	
18 札幌あすかぜ(旧：稲西)			1			2	1
19 とわの森三愛			1			1	2
20 北海学園札幌				1		1	2
21 札幌山の手	1	2					1
22 小樽桜陽	1		1	1	1		
23 札幌厚別			2		1		1
24 札幌東商業			1	1	2		
25 札幌国際情報				4			
26 札幌日本大学高校	1	1				1	
27 札幌真栄	1	1	1				
28 札幌新川	1	1			1		
29 江別	1		1		1		
30 東海大札幌		1	1	1			
31 恵庭北			1	2			
32 北星学園女子				2	1		
33 別海				1	1		1
34 留萌							1
35 苫小牧南							3
36 根室							1
37 日本放送協会学園							2
38 札幌光星	1					1	
39 檜山北		1				1	
40 寿都		1				1	
41 小樽未来創造						1	1
42 小樽双葉		1				1	
43 滝川西	1	1					
44 札幌大谷	1		1				
45 札幌啓成	1			1			1
46 札幌龍谷	1			1			
47 千歳	1			1			
48 札幌静修	1				1		
49 北見藤	1				1		
50 札幌北		1			1		1
51 札幌篠路		1			1		
52 岩見沢西			1				1
53 北広島西			1	1			
54 岩見沢緑陵				1	1		
55 池上学院							1
56 小樽水産							1
57 広尾							1
58 倶知安							1
59 北海道文教大学付属							1
60 聖隷クリストファー							1
61 北海							1
62 函館西							1
63 有明							1

出身校別状況

(順不同)

高等学校名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生
64 青森山田						1	
65 飛鳥未来						1	
66 大麻						1	
67 小樽商業						1	
68 札幌大通						1	
69 札幌工業						1	
70 札幌琴似工業						1	
71 札幌白陵						1	
72 秋田県立雄物川						1	
73 札幌新陽	1						
74 札幌東	1						
75 北海道文教大学明清	1						
76 旭川実業	1						
77 旭川龍谷	1						
78 野幌	1						
79 市立函館	1						
80 帯広北	1						
81 奥尻	1						
82 北海道栄	1						
83 鹿追	1						
84 千葉県立我孫子	1						
85 有朋		1					
86 立命館慶祥		1					
87 妹背牛商業		1					
88 名寄		1					
89 北星学園大学附属			1				
90 旭川西			1				
91 旭川永嶺			1				
92 音更			1				
93 帯広南商業			1				
94 滝川			1				
95 浦河			1				
96 紋別			1				
97 国立苫小牧工業高等専門			1				
98 遺愛女子			1				
99 青森弘前工業			1				
100 相生学院			1				
101 厚真				1			
102 旭川農業				1			
103 恵庭南				1			
104 登別明日				1			
105 中京女子大附属				1			
106 北海					1		
107 札幌平岡					1		
108 室蘭商業					1		
109 釧路商業					1		
110 釧路東					1		
111 釧淵					1		
計	40	40	40	40	40	40	41

(順不同)

卒業年	2020	2021	2022	2023
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
札幌東徳洲会病院	3		2	2
柏葉脳神経外科病院	3	1	4	3
北光記念病院	3	2	2	4
J R 札幌病院	2	1		
手稲溪仁会病院	2			1
時計台記念病院	2	2	1	1
札幌南一条病院	2	1	2	
イムス札幌消化器中央総合病院	2	2		2
札幌西円山病院	1			
北海道大野記念病院	1	2		
札幌中央病院	1	3	2	1
恵佑会札幌病院	1	1	7	3
愛全病院	1	2	2	1
札幌清田病院	1	1		
NTT東日本 札幌病院		1		
国立 北海道医療センター		1		
定山溪病院		1		
道立 子ども総合医療・療育センター		1	1	
札幌市立病院		1		
札幌整形循環器病院		1		
クラーク病院		1		
天使病院		1	1	
北海道整形外科記念病院		1		
土田病院			1	1
JCHO北海道病院			1	
KKR札幌医療センター			1	
北海道医療センター				1
札幌真駒内病院				1
勤医協札幌西区病院				1
愛育病院			1	
札幌北辰病院				1
札幌禎心会病院			1	
東札幌病院			1	
北海道大学病院			1	1

札幌市内

(順不同)

卒業年	2020	2021	2022	2023
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
国立病院機構帯広病院	3			
帯広協会病院			1	
帯広厚生病院			1	
市立千歳市民病院	1			
江別市立病院	1		1	
江別溪和会病院	1		1	
石狩病院				1
名寄市立総合病院				1
製鉄記念室蘭病院	1			
倶知安厚生病院				1
慶愛病院		1		
小樽済生会病院		1		1
小樽市立病院		1		2
千葉県救急医療センター	2			
東京都健康長寿医療センター	1			
東京都東医療センター	1			
埼玉県森林病院	1			
日本医科大学付属病院		1		1
東京慈恵会医科大学附属病院		1		1
西湘病院				1
昭和大学病院		2		
昭和大学藤が丘病院				1
北里大学病院			1	
相武病院			1	
成田赤十字病院			1	
卒業生 合計	37	34	38	34

札幌市外

道外

【入学在籍状況】

(単位：人)

期 年 区分	1期生			2期生			3期生			4期生			5期生			6期生		
	2017 入学	退学	卒業	2018 入学	退学	卒業	2019 入学	退学	卒業	2020 入学	退学	卒業	2021 入学	退学	卒業	2022 入学	退学	卒業
全体数	40	3	37	40	4	34	40	3	37	40	6	34	40	1		40	2	
うち男子	4	0	4	2	0	1	2	0	2	5	1	4	6	0		6	1	

【看護師国家試験結果状況】

年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国家試験回数	109回	110回	111回	112回
全国合格率	89.2%	90.4%	91.3%	90.8%
看護師養成校(新卒)	94.7%	95.4%	96.5%	95.5%
本校合格率	91.9%	94.1%	94.7%	97.1%

【2022年度 専任教員年間研修・研究実績】

1. 事例検討会 学会報告会

月	内容
7	1.学生に対する事例 2.教育に関する事例 3.学会報告会
1	1.年間研修計画領域別学会・研修会参加報告会 2.学生に関する事例
3	1.年間研修計画領域別学会・研修会参加報告会 2.学生に関する事例

2. 教育実習受入状況

月	内容
6	環太平洋大学通信教育過程（看護教育専攻）
10	北海道専任教員養成講習会
12	北海道高等学校産業教育実習講座（看護）

3. 各領域別学会参加研修

主催/学会名	領域	参加教員
日本看護学教育学会 第32回学術集会	基礎看護学	藤原 未央
日本看護協会 日本看護学学術集会	地域在宅看護論	櫻井 美奈子
日本母性看護看護学会 第24回学術集会	母性看護学	吉田 かつえ
日本看護技術学会 第20回学術集会	看護技術	齊藤 まどか
日本看護協会 日本看護学学術集会	成人看護学	三上 麻美
日本小児看護学会 第32回学術集会	小児看護学	坂本 容子
日本看護協会 日本看護学学術集会	精神看護学	鎌田 たまみ
日本看護学教育学会 第32回学術集会	成人看護学	井上 里織
日本看護協会 日本看護学学術集会	成人看護学	成田 淳人
日本看護協会 日本看護学学術集会	老年看護学	浦島 愛佳